令和4年度(2022年度)第1回
空知管内地域いじめ問題等対策連絡協議会概要

空知教育局高等学校教育指導班　令和４年８月発行

令和４年７月12日（火）に、「第１回空知管内地域いじめ問題等対策連絡協議会」をZoomにより開催しました。本協議会には、構成員36名が出席し、今年度の取組の重点「令和４年度の取組に向けた３つの柱」を確認するとともに、各機関・団体における取組について情報交換を行いました。主な内容は次のとおりです。

「令和４年度の取組に向けた３つの柱」について

【いじめ問題への対応】	【ネットトラブルの根絶】	【不登校への対応】
○いじめはどんなことがあっても許されないことについての理解の啓発 ○望ましい人間関係づくりに向けた取組の充実	○望ましい生活習慣の確立 ○携帯電話やスマートフォンとの望ましい向き合い方などの情報モラル教育の充実	○不登校の子どもたちへの継続的な支援の拡充 ○子どもたちが安心できる環境づくり ○学校、家庭、地域が連携した子どもや保護者への支援

１　いじめ問題への対応について

空知校長会　滝川市立滝川第三小学校　西田　篤人　校長

いじめ問題への対応について、子どもの安心・安全を守る取組を一層充実させるとともに、各学校の創意工夫ある取組について地域や保護者にも伝え、学校の取組を理解してもらうことが大切である。

北海道特別支援学校長会空知支部長　岩見沢高等養護学校　櫻田　なおみ　校長

自分の気持ちをうまく言葉で表現できない子どもたちに対して、上手に人と関わる方法を大人が示す必要がある。自分の思いどおりにならないことや他者との関わりの中で、相手の立場にたったとらえ方や傷つけない言葉で意思表示できるような指導をしていくことも大事である。また、担任や生徒指導担当以外の教師との面談など教育相談体制の工夫・充実を図り、全校職員による生徒の指導と見守りに努めていきたい。

深川市教育委員会学校教育指導専門員　中井　清一　様

深川市では、いじめ・不登校を生まない、お互いを思いやり、よりよい人間関係を築ける学校づくりを進めている。特に、児童生徒が互いに認め合い・支え合うことができるよう、ピア･サポートやQ-Uを実施し、児童生徒の自己存在感を高められるような取組を進めている。

２　ネットトラブルの根絶に向けて

岩見沢警察署生活安全課　生活安全・少年係長　林　　暁　様

情報モラル教育については、スマートフォンやＳＮＳ等の安心・安全な使用方法について、学校に出向いて講話を行っている。保護者向けには、サイバー犯罪の防止等に関わる資料等を配布し、啓発活動を行っている。警察署では、ネットトラブルに関する相談以外にも、子どもたちが抱える様々な悩みや非行等の問題行動についての相談を受け付けているので、ぜひ活用してほしい。

３　不登校への対応について

岩見沢市教育委員会指導室　池津　卓弥　主査

毎年、市内の小・中学校の全教職員を対象とした研修を実施し、不登校問題への正しい理解を図っている。また、登校支援室を市内２か所に設け、不登校児童生徒への学習支援のほか、ボランティアの方々の協力を得ながら、様々な体験活動を行い、学校に通えなくても「元気な不登校」であるよう支援している。さらに、不登校児童生徒の保護者を対象に、登校支援室職員と養護教諭がコーディネーターとなった座談会を開催している。

岩見沢児童相談所地域支援課長　岡出　浩紀　様

子どもたちの心とからだに関すること、家庭や学校で困っていることなど、子どもに関わる全ての相談に応じている。不登校の児童生徒や虐待の被害を受けた子どものサポートを行っており、関係機関と連携を図りながら、子どもたちを支援している。